

令和6年9月20日

茨城県立つくば看護専門学校
学校長 志真 泰夫 殿

学校関係者評価委員会
委員長 渡葉 葉月

学校関係者評価委員会報告

令和5年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

1 学校関係者評価委員

- ① 渡邊 葉月 (公益財団法人筑波メディカルセンター筑波メディカルセンター病院 副看護部長)
- ② 森田 千映 (筑波大学附属病院 看護部 副看護部長)
- ③ 安田ひとみ (公益財団法人筑波メディカルセンター筑波メディカルセンター病院 看護師長)

2 学校関係者評価委員会の開催状況

第1回委員会 令和6年8月30日(会場 茨城県立つくば看護専門学校 会議室)

3 学校関係者委員会報告

別紙のとおり

以上

I 各評価項目について

評価項目	評 価 内 容
I 学校経営	中期事業計画を策定し、学校運営を行うことができている。教職員は、単年度目標に対し中間評価、年度末評価を行い、さらに、その結果を次年度の事業計画に反映している。また、学校運営や学生の教育を検討するため、定期的に教員会議を開催している。社会的な要請に応えた学校独自のカラーを外部環境の変化や外部意見を取り入れ検討されることを期待する。
II 教育課程 教育活動	効果的な授業運営を図るため、学習の順序を考慮し時間割の調整ができている。また、学生に対するサポートは手厚く、個別性のある教育が行われている。教育活動に関するアンケート等は実施しているが、分析した結果から課題を明確にする等、教育活動の改善に向けた PDCA サイクルが機能することを期待する。また、実習については、病院の実習指導者と教員との意見交換の場を定期的に設けていることは評価ができる。学校と病院の協力体制の強化は、よりよい実習環境の提供には必要不可欠であるため継続されることを期待する。実習におけるインシデントは、学校内で共有し、再発防止に向けた取り組みが行えると尚よい。さらに学生に対する人権への配慮に関しては、ガイドラインも策定され体制も整えられている。人権への配慮に対する教育を教員、学生双方が行うことで理解が進むと思われるため検討を期待する。
III 入学・ 卒業対策	県内就職率が高く、地域に貢献できていることは高く評価できる。中途退学者もなく、学業を継続するための支援は適切に行われている。就職説明会や国家試験対策も早期から取り組んでおり、学生の資格取得、就職への支援は適切である。
IV 学生生活 への支援	教員は、定期的に学生と面談を行い、さらに、いつでも相談に応じることができる体制となっている。カウンセラーも配置し、第三者が支援する体制も整っている。今後、カウンセラーを有効的に活用できるような工夫がされると尚よい。既卒者や中途退職等、卒業後の支援体制の強化がされることを期待する。
V 管理運営 財政	予算計画、年間事業計画を策定し、適正な予算の執行・進行管理がなされている。学生や非常勤講師、教職員の個人情報、安全性の高いクラウド管理がなされている。個人情報保護や倫理的課題を検討するための倫理委員会の規定を設け、運用されるとよい。災害時の危機管理体制は、定期的に見直しがされることを期待する。
VI 施設設備	教育内容にふさわしい教材の購入は計画的に進められている。施設・設備の老築化対策やバリアフリー施設の検討など今後の取り組みに期待したい。
VII 教職員の 育成	研究調査活動などに積極的に取り組んでいることは評価できる。教員間で、授業内容の検討や、実習についての指導や評価についての意見交換は今後も継続されるとよい。教職員の育成に関する学校が抱えている課題を明確にし、職場内研修など計画的に企画運営されることを期待する。
VIII 広報	学校運営及び評価の結果をホームページ上に公表しており適切である。学生の声を反映し、ホームページやインスタグラム等 SNS を活用した広報活動がされている。定期的に更新されると尚よい。

IX 地域との 連携	地域への出前講座の参加や高校主催の学校見学会を受け入れるなど、地域と積極的に協力関係を築いている。また、ボランティア活動にも参加し、地域貢献されており評価できる。
------------------	---

II その他

教職員が最終評価の場に参加し、評価内容を共有されたことは高く評価できる。